

神戸のディテール

Detail of KOBE 〈72〉

石阪 春生 写真 / 杉尾友士郎





緑が涼しい黄昏れどきに



POËTIQUE

KOBE
まさ

- 神戸 さんプラザ店
さんちか店
- 大阪 千里阪急地下街店
阪急ファイブ
西武高槻店
泉北バンジョ店
- 宝塚 阪急ファミリーストア店
- 大津 西武大津SC店

'79—'80

GIORGIO ARMANI

『私を創りあげるため まとめあげるため…』

ジョルジョ・アルマーニ

Sanohe

ヌーベル・サノヘ

元町1番街 (078)321-1710

本店 / 元町2丁目 (078)331-4707

クレージュブティック / トアロード (078)331-4707

9月18日(火)大阪ロイヤルホテルにてグランドコレクション
“QUADRILLE+1”を開催いたします。神戸っ子愛読者の皆様を
ご招待いたしますので詳しくはヌーベルサノヘまでお問い合わせ下さい。
P. 145もご参照下さいませ。



★日生鈴蘭台ニュータウンポ〈6〉

星和台風景

悠々、二世帯の同居のスペースが
大石 保郎(大石不動産代表、星和台六丁目自治会々長)



冠木門が落ち着いた風格の外観



玄関脇の情緒ある坪庭



床の間にはまるみさんの活けた花が



手いれのゆき届いた前栽



(お問合せ)

- 現地案内所 / 日生鈴蘭台ニュータウン内
(神戸市北区星和台) ☎078(593)7071・2
- さんプラザ案内所 / 〒650 神戸市生田区三宮町1丁目さんプラザ3F ☎078(391)6696(代)
- 売主 / 星和住宅(株) 星和地所(株)

「庭には風を凝らし
手をいれましたね」
職業柄、家屋には鑑識のある大石さんが、ひとめで気に入ったのがこの家で、純和風の冠木門が印象的だったようだ。
おばあちゃんを含む大石さん一家と、娘さんのまるみさんが嫁いだ山中正行さん一家の二世帯が、快適に暮せるスペースを持ち、しかも二間続きの和室がある家をと選ばれた。家中のマスコット、お孫さんの篤史君にとつても恵まれた好ましい自然環境だ。
大石さんはたまたまいとの調和を考へて庭に随分と風を凝らし、庭石や金明孟宗竹を入れ、訪れる人の目を楽しませてくれる。



二間続きの和室で家族の団聚がみられる。左から山中まきみ夫人、
山中正行さん、太石 保さん、義代子夫人、前は重史君。

創作銘菓 果心庵



故郷へのおみやげ——

旨 楽 味 趁
本 高 砂 屋

直営店・神戸元町本店・さんちか店・阪急三番街店 取扱店・全国有名百貨店

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の手帖です

8月 目次 1979 NO.220

表紙／小磯良平

セカンドカバ／僕の見た神戸⑧／西村 功

9 神戸っ子⑦／ひらやまはつみ／田中一好

コウベスナック

イメージの神戸②⑨／宮崎豊治

神戸のディテール⑦②／石阪春生／カメラ・杉尾友士郎

私の意見／坂上 豊

31 随想／森 英夫／添田 孝／落合久子

34 ある集いその足あと／神戸ハッセルブラッドクラブ

36 連載エッセイ・私のひろいもの⑧／竹中 郁

神戸女子薬科大学と神戸⑤／金子太郎

44 連載随想／すつけけ年表②／春木 一天

国際交流を深める輸入促進を

村上 敦／吉田 寛／田嶋克己／徳山正午

安田幹男／室井久留／安部文雄／芝 康豆

経済がケツトジャーナル

55 52 50 第四回 井植文化賞受賞者発表

文化芸術部門／荒木高子

報道出版部門／春木一夫・サンテレビビジョン

社会福祉部門／春本幸子

地域活動部門／尼崎郷土史研究会

科学技術部門／嶋田勝次

特集／TALK TOWN

大森 一樹／小関三平／竹田洋太郎／赤尾兜子／村上知彦／写真・小山 保

フアッシュン学講座⑧／岡田 淳

フアッシュンスポット

ある集い／神戸ハッセルブラッドクラブ

メント&セル／井上 靖・文 赤尾兜子

MENU MODE MARCHEN 20／篠原順子

神戸の催し物②案内⑧月

動物園飼育日記⑧／亀井 一成

六甲山100コース⑧／船坂谷／島 京子

ノコちゃんの花嫁なる食へる記⑧／小山乃里子

K.F.S ニュース

神戸の集いから

話題のひろば①アロハコンサート②廣匠中学合唱団豪州へ行く

神戸を福祉の町に⑧／橋本 明

フアッシュンレポート／市野木江充子

私の映画手帖②⑩／淀川長治

女性百景⑧④／オーディオの女／細川 董

びっぴん

神戸百貨店だより

ボケツトジャーナル

ルボ・知らない人の神戸②「さんちかタウンから」

小説 決闘／秋吉 好／絵・新谷英子

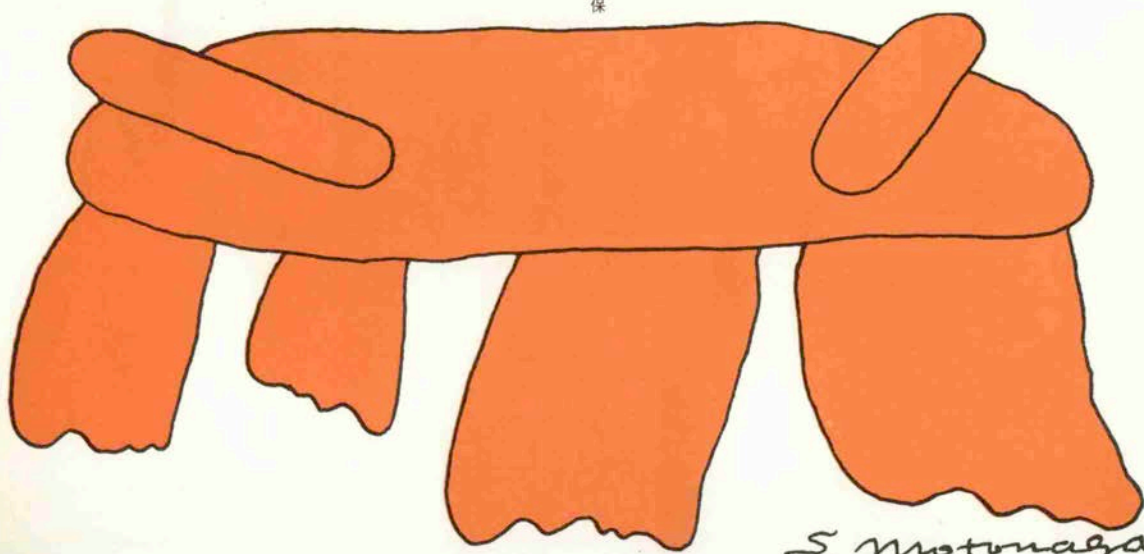
トピック&トーク／トラベルガイド

再びアルファベットアベニューC／新井 満・石阪春生

海 船 港／幻の天女丸／長手源三郎

カメラ・米田定蔵／藤原保之／橋本英男／後藤 孝／速水 亨

目次作品／元永正正



S. Motonaga '79

SUMMER GREATING



Rose Garden

神戸市生田区山本通2丁目106
☎078 (222) 1140



異人館倶楽部

神戸市生田区北野町4ノ30ノ2・株ベアーズ
☎078 (222) 1266



KITANOALLEY

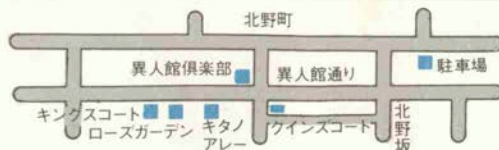
神戸市生田区山本通2丁目67ノ1
☎078 (222) 4206

異人館通りの小さなキング
ハンター坂の小さなクイーン
それはタウンスケールにあった
ユニークで楽しい二つの館です。



キングスコート ☎242-7090
ショッピングの館(オフィス)

クイーンズコート ☎242-2469
レストラン&サルーン



近頃、入道雲までおしやれになった。



トータルコーデネートファッション

●リザ・サロン

アクセサリ内外雑貨

●ルイ・ミッシェル

COLLEGE SHOP

●CABIN

パリ・ナウファッション

●フランス・アンドルヴィ

パリ・ナウファッション

●ジョー・ジュ・レッシュ

東京銀座・婦人靴

●ダイアナ

舶来婦人靴専門店

●Pia

ヤング&アダルトファッション

●ルベール

ヤングアダルトファッション

●ランプ

ファッションバッグ・アクセサリ

●美呂

原宿・婦人服

●CAN

銀座・婦人服

●ゲルラン

婦人服飾

●東京屋

新宿・レディスファッション

●高野

おしゃれな靴の店

●BONフカヤ

コンテンポラリーファッション

●ザ・コレクション

宝飾・ビジュテリ

●ココ山岡

東京銀座・レディスファッション

●三愛

**FASHION
PARK**

神戸・三宮

さんプラザ・センタープラザ

3F

、ロック音楽でも聴きながら……。

土と炎と技の巧み

陶器の粋

題字 望月美佐

特選洋陶器サロンへ6階



神戸三ノ宮
そごう
TEL 078-221-4181



●23ピース・大倉陶園ティーセット

オリエンタル調の葡萄唐草に
縁取られた白磁の肌にやどる
高貴な輝き——。

満ち足りたひとときを優雅に
演出するティセットは、
真に美しいものを知る人にこそ
ふさわしい。

華麗なるティータイムへの
招待状を、〈そごう〉からあなたに
むけて送ります。

●〈そごう〉特選洋陶器サロンには芸術性あ
ふれる高級洋陶器から、実用性を兼ね備え
たご贈答好適品まで厳選した品を取り揃え
ております。

ぜひ、一度お立ち寄りくださいませ。

☆私の意見

地域の

ラジオの役割

阪上 豊

△ラジオ関西取締役社長▽



ラジオは華やかなテレビや新聞雑誌と違って、耳だけが頼りの地味な媒体ですから、どうかすると、テレビに押されて余り聴かれていないのではないかと、あるいは歌謡曲やポップスなどのレコード音楽ばかりを放送しているのではないかと思われがちです。しかし、今日のラジオはそんな意見とは全く裏腹にあまり目立ちはないが、実に多くの市民層に聴かれているし、地域社会の人の日常生活に欠くことができない大切な情報媒体として、大きく役立っていると確信しています。

例えば、私共の朝の放送「遊児笑児のおはようさん」や斉藤アナウンサーの「ワイドワイド関西」などのナマ番組は、神戸をはじめ県下ひろく家庭の奥さま方にたいへんご好評を戴いています。

それは何故かというと、まず第一に放送するパーソナリティの魅力が挙げられますが、放送の中味が毎日、新鮮なナマ放送で、特に地元ニュース・話題・くらしの情報などを網羅して日常の家庭生活に必要ですぐ役に立つものばかりを楽しく放送しているからといえます。

最近のラジオが家庭の主婦の方々に急ピッチで聴かれるようになったのは、このようにナマ放送が面白く役に立ち大小さまざまなキメ細かい話題やお知らせを繰り返し放送して「地域の匂い」を新鮮に放っていることと現代の主婦が地域の問題に強い関心を持ち地域社会との関連の中で、自分の生活向上を目指しておられること、そのための連帯と情報提供という役割を地域ラジオが持っているからにほかなりません。

私はラジオは「水道の水」だと思います。これほど日常必要なものはないし非常に役立っているのですが余り目立たない。しかしなければ困る、どんな人にも必要で本当は深く親しまれている、これが地域のラジオの役割だと思います。——このたびはからずも社長に就任しましたが、より一層皆さまに親しまれ愛される地元のラジオとして精一杯の努力を重ねたいと念じています。

(談)

刀剣 古美術



鑑定 買入 刀剣研磨 その他工作
一ヵ月仕上 是非ご用命下さい。
お支払いに便利なローンをご利用下さい

刀 剣 元町美術
古美術

神戸市生田区元町通6丁目25番地

TEL 078-351-0081

贈る心にお菓子をそえて



●和洋菓子売場

ゴーフルをはじめ、ご贈答の銘菓を店内いっぱい陳列しご用命を承っております。

●茶 寮

お買物のひととき、又元町で散策時の憩いの場としてご利用下さい。



神戸 月 堂

本社／神戸元町3丁目 ☎(078)321-5555

随 想

'79 HAPPENING AT MUROUCHI

森 英夫

△造形▽



森英夫、紙テープによる「直角度定点走行線」



'79 HAPPENING AT MUROUCHI より

昭和元年生まれの校舎が、このたび壊されることになった。私の勤めている市立室内小学校のことだ。この校舎は建物自体に特色があり、まだまだ健在ではあるが、諸々の問題も含め、この夏休みに取り壊すことになったのである。ちなみに、この校舎は中庭兼講堂をかこむように四方に教室があり、一点に立って監視していればどこで誰が暴れているかが見通せる言わば「アメリカの刑務所」を参考に建てられていて、生徒たちや教える我々にはすこぶる環境的に悪いものである。

そこで、この国字型（まさしく

書いて字のごとく国のような型の校舎である）中空校舎を利用してぼんくら7月展企画をしてみようと、ぼんくら連に募ったところ、（7月のコミッシヨナーは私だから皆に企画に乗ってもらったのだが）夏休み前の7月1日、10時から5時にわたっての'79 HAPPENING AT MUROUCHI となったわけである。

この日は朝から晴れるでもなく曇りでもない一日で、参加者を順にあげると足立幸久の「立方体の布」何にしろ手縫いでボチボチ進めるので見物客も参加者もだれもが手伝う一見家内工業のような作業で進められ朝一番から始めて夕方完成という、この一日彼のためにという程に恵まれた人であった。小川奉但の「紐」梶原忠司の「木と紙」はハブニングらしい「やります」というかけ声もろともバツとひもをはったり、紙を一気に破ったりするもの。中田誠はインペーダーならぬ「円盤」を中庭で飛ばし、子供に人気があった。宮崎みよしの版画による「子供たち」は、三階のペランダから小学生がこの日の我々の「なにやっとなやまかふしぎやなあ」という催しを仲よくのぞき込んでいるという風情にずらつと展示。ハブニングが上手な堀尾貞治は海からひろってきた布と棒で中空からロープをはって一

気に落したり、まだ肌寒いのに水着で水のハブニングを二種やったり、とさすがに大はり切り。そして私はわがなれ親しんだ校舎の庭に紙テープで「直角度定点走行線」なるハブニングをやってみた。

この我々の仕事は、常に一人で行なうのでなく当日に参加している者、見学している人みながロープをもったり、テープで測ったり布を縫ったり、展示を手伝ったり水を流したりと、協力してやることが何よりの特色である。

私たちの活動は自己満足の域を出ていないかもしれない。しかし一人でこつこつ仕事が続けている者が何人か寄り集まって時には各々の創作の刺激になりまたよき話し相手、飲み相手としての仲間という意識のもとに寄り集まって「何か」を創り出していきたいと願っているのである。

さて、ハブニングは何でもってその面影を止めるのかという写真とビデオ。この日の記録を（これも各々が写した写真を持ち寄って）展示するのが、ほんくら7月展。8月4日まで激写が展示されています。是非ご来場を。

天国と

シヨパン

添田 孝

ハビアニストV



よく楽器をしない方が、「こんなに沢山の音符をよく全部覚えられますね!」と感心してくださるのだが、私はこれを書きながら、とにかく文章を書く方達を深く尊敬している次第である。

さて、四才から始めたピアノの思い出をつづつてみたいと思う。私がピアノを始めた理由は、何しろ好きだったからである。当時は今と違って、母親が子供にピアノを押しつけるなどということはなく、のんびり楽しく稽古していたように思う。私も幼稚園、小学校低学年の頃は、レッスンに行くのが楽しくて楽しくて、仕方がなかった。片道二〇分の徳末先生宅まで、ひきずりそうな、当時の私には少し大き過ぎるバッグを持って、喜々として通っていたのである。

もう一つ、私が音楽を続けられたのは、相愛学園「子供の為の音楽教室」に入ったことである。確かこの教室が出来た年に、小学校一年で入室したと思う。ここで本格的に聴音やソルフエージュを勉強し始めたのだが、これがまた面白くて楽しくて、須磨から大阪まで毎週土曜日の午後通ったもので

ある。聴音も好きだったが、もう一つひかれるものがあつた。それは相愛女子高校の食堂のきつねうどんで、とてもおいしく、確か十円か十五円だったと思う。合唱の授業をさぼってよく食べたものである。今から思うと、絶対音感を身につけることが出来たのは、徳末先生の早期音楽教育と子供の音楽教室ときつねうどんのお陰ということになる。

話とはぶが、桐明学園時代にタクシーに乗っていて交通事故にあつたことがある。病院で気がつくまでの数分間、見渡す限りの薄紫色の花畑の上を、自分がゆるやかに心地良く飛んでいる夢をみていた。なんて良い気持ちだろうと思った時、気がついて病院にいたのだが、もしかしたら、あれが天国へ行く入口だったのかもしれないと思ったりしていた。そしてけがも治り、ある音楽会で、シヨパンのソナタ作品35を聴いたのだが、第三楽章つまり有名な葬送行進曲のトリオの部分になって驚いた。まさに私が事故の時体験したあの光景そのままが音で表わされているのだ。この時、つくづくシヨパンという人の偉大さに、ため息が出るばかりだった。そして、自分がリサイタルをする時は、何としてもこの葬送ソナタを弾きたいと思いつけてきた。この七月三日のり

サイタルで、念願のこのソナタを演奏して、改めてショパンの才能の大きさを痛感させられている。

そして生涯この天才に、立ち向かっていかなければならないと、心に決めた次第である。

三十五年目の

願い

落合久子

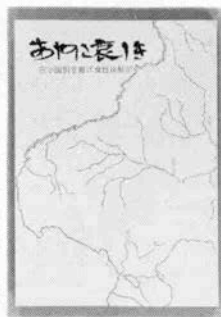
△在中国女性友の会▽



今年も間もなく八月十五日を迎えます。人生の半分を「引き揚げ者」と言う烙印を背負って生きてふと自分を振り返って見る時、ただ「堪える」こと一途に歩いて来たと気付きました。何と哀しい人生を辿ったものだと苦笑します。

考えてみれば外地（旧満州）で終戦を迎え関東軍に見すてられた私達は敗戦国民としてあらゆる屈辱、悲痛をのりこえてやつと日本の土を踏んだものの、おおかたの人々と同じように私も「招かれざる客」としての生活をしいられたのです。もちろん故国も戦災による被害は至る所にあり食糧難の時でした。日本に帰ってからの生活は親子六人の衣食住を夫と共に何

とか支えて行くことに一生懸命でした。ある時私は一、二枚持ち帰っていた着物を普段着にしたとき「貧乏すりゃこそ小袖着る」と皮肉を言われ、ゴミ箱の蓋がなくなれば引き揚げ者のせいにされ、た



「あやに哀しき」昨年十一月、神戸・湊川神社での慰霊祭の時、寄せられた森繁久弥さんの詩の一篇よりの題名が。

だ堪えることだけ！

子供達には卑屈にならず信念を持った人間に成長してほしいと願って育てて参りました。

その子供達も今は皆結婚して巣立って行き手のながさが空っぽになった時、三十五年前の八月「ソ連参戦」「終戦」と相つぐ混乱の中で逃げ廻るうち飢えや病気で亡くした小さな命、又開拓団及び満蒙義勇軍の十四、五才の少年達の犠牲者のことをこの国の皆んなに訴えて知って貰い二度と平和の乱されないよう、また遠い満州に眠っている方々の冥福を祈りたいと思いい昨年七月、友と共に神戸新聞にて呼びかけました。八月五日の夕刊に再度記事がのせられるや電話はひっきりなしに鳴り、反響の大

きいこと、引き揚げ者が沢山神戸にも居られるのに驚きました。八月十五日の発会式には集って来られた方々は十年の知己の如く語り思い出に花が咲きました。

早速体験記を出版しようと言うことになり、まず慰霊祭を十一月二十五日に行い悲しみも新たにご冥福をお祈り致しました。

「あやに哀しき」の出版は不馴れな者ばかりで会員の方より寄せられた手記を日曜日毎に集まって編集いたしましたが一一人異なる体験記です。北緯三十八度を越えて幼ない命を亡くした方、ソ連兵の暴行をやつと逃れた方、逃げる途中で姉さんを河に流された方等、女性と子供だけでの苦しいものです。五月に出版できました。

でも人は最早それは過去のことと言われるかも知れませんが私にはそうではない。何故なら私たちには未だ終戦とは言えないのです。遠い満州の地に眠っている同胞の墓参ができ、また彼の地で育てられた子供達（現在はおもう子を持つ親でしょう）が本当に幸せだと思えたとき始めて終戦といえるでしょう。それまでは微力でもつづけましょう。今日（こんにち）ベトナムの難民のニュースを聞く度にかつての自分の姿を思い浮べ、一日も早く救いの手を差し伸べて頂きたいと願う今日この頃です。